

## 二〇二〇年度定期総会報告

長老 後藤俊文

府中中河原教会の定期総会は一月二六日(日)主日礼拝後昼食をとり開催された。

議長大石周平は午後〇時三五分議長席につき一同で讃美歌一九六番を歌い聖書マタイによる福音書六章三一節から三六節を朗読し祈りを捧げた。その後本総会の書記について議場に諮り長老後藤俊文が選出された。書記後藤俊文は現任陪餐会員二三名の点呼に移り一六名の出席を確認した。議長は日本キリスト教会規則第二二条五項によつて長老の選挙があるので現任陪餐会員の三分の一以上の出席者があることを確認し総会の成立宣言を行った。

議事順序に従い諸報告がなされた。書記報告では二〇一九年度一年の歩み、教情・教勢報告がなされ承認された。会計報告では議事資料の誤記部分の差し替え資料の配布のあと通常会計・特別会計の決算報告がなされた。会計処理について会計監査を行つた会員後藤さち子より適正に処理がなされているとの報告があつた。会員よりは会計の収支のバランスについての質問があり会計よりの説明がありその後承認された。

会計報告の後、大中全会報告がなされ特に多摩地域三教会の連携についての説明があ

りその後承認された。

続いて牧師大石周平より二〇二〇年度の予定について「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」の主題に基づき議事資料を用いて課題と行事予定が示された。特にイースター・クリスマス礼拝を聖餐礼拝とすること、訪問聖餐の検討をすることが説明された。議場よりは以下のような質問意見が出た。

合同の讃美礼拝はどこで行われるのか。  
オープンチャートと修養会はまとめられないか。

以上について議長より説明、応答があり議場は二〇二〇年の予定を承認した。

議長は長老選挙にあつて投票委員の選挙を議場に諮つたところ議場は小会に推薦を求めたので長老奥野玲子は鹿又美保子・後藤さち子の二名を推薦し承認された。

議長より投票についての説明がなされその後第一回目の投票に入り玉山美保子が再選された。続いて第二回目の投票に入り須藤洋子が選挙された。

続いて長老(会計)奥野玲子は議事資料により二〇二〇年度の予算を説明した。

災害備蓄を考慮し物置を購入する、会堂建築会計より一般会計へ三十万円繰り入れる等の説明があり、議場からは繰入れに反対の意見が出た。また会堂建築会

計の名称が実態と合わないので名称を検討するよう要望があつた。議論の後予算案は承認された。

議長は予定された議事が終了した事を確認し記録の確定について小会に一任することを提案し議場は満場一致で承認した。

全員で讃美歌一六一番を歌い、議長牧師大石周平と会員小林尚子が閉会の祈りをささげ、午後三時二十八分、日本キリスト教会府中中河原教会二〇二〇年度定期総会は閉会した。

### 小会便り

◆一月一三日(月・休)中会日曜学校教師研修会が横浜海岸教会で開かれ、当伝道所から牧師大石周平、長老奥野玲子・後藤俊文・玉山美保子、会員小笠原忠司が出席した。

◆大石周平牧師が出席を予定していた世界改革教会共同体、東北アジア部会総会(二月一〇日～一二日 於 台北)は一月に延期となった。

◆二月一六日(日)主日礼拝において、牧師大石周平の司式のもと、須藤洋子の長老任職式が執り行われた。

◆第六九回定期中会が三月一九日(木)二〇(金)に鶴見教会に於いて開催される。当教会より正議員として教師大石周平、長老後藤俊文が出席する予定。